

# 衆議院農林水産委員会ニュース

【第 221 回国会】令和 8 年 4 月 16 日（木）、第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・鈴木農林水産大臣、根本農林水産副大臣、広瀬農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）藤田ひかる君（自民）、山本深君（自民）、野間健君（中道）、関健一郎君（維新）、村岡敏英君（国民）、神谷裕君（中道）、木下敏之君（参政）、林拓海君（みらい）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 藤田ひかる君（自民）

- （1） 中東情勢により長期化も見込まれる生産コスト上昇への食料システム法に基づくコスト指標の見直しを含む対策についての農林水産省の見解
- （2） 新規需要米の需給バランス関係
  - ア 加工用米や飼料用米等の新規需要米の作付が減少していることによる需給ギャップについての農林水産省の認識
  - イ 生産者が作付判断を行う時期までに需要調査を行い需給ギャップを提示する必要性
- （3） 自治体が自ら担い手として活動しつつ新たな担い手の育成に取り組むモデルの地域計画における評価及び位置付け

### 山本深君（自民）

- （1） 農林水産物・食品の輸出拡大関係
  - ア 食料・農業・農村基本計画で掲げる 2030 年の輸出額 5 兆円の目標達成に向けた覚悟、戦略の全体像、今後強化すべき具体的な施策及び予算についての農林水産大臣の見解
  - イ 海外需要拡大における成功事例の要因及び他品目への横展開に向けた具体的取組
- （2） 食文化産業の海外及びインバウンドの需要喚起関係
  - ア 農林水産省による海外需要喚起の検討及び取組と、輸出額目標達成に向けての位置付け
  - イ SAVOR JAPAN の予算拡充及び本格的推進の必要性

### 野間健君（中道）

- （1） 家畜伝染病予防法改正による豚熱の選択的殺処分導入関係
  - ア 豚熱の防疫措置を全頭殺処分から選択的殺処分に転換する理由及び安全性の観点からの妥当性
  - イ 殺処分の対象とはならない豚の安全性を周知させる方法
  - ウ 法改正から選択的殺処分の実施開始までの期間
- （2） 養蜂関係
  - ア 蜜源植物を河川敷に植栽する要望に対しての国土交通省の見解
  - イ 蜜蜂減少への対応及び蜜源の確保に関する農林水産省の具体的施策
- （3） 節水型乾田直播の米作り関係
  - ア 農林水産省が推進しているかについての確認
  - イ 多面的機能を有する水田がなくなる等の懸念に関する農林水産大臣の見解
- （4） 中東危機による影響への対策において農業資材の確保に優先的に取り組む農林水産大臣の決意
- （5） 国有林野事業従事者の待遇を労働条件に見合ったものに戻す必要性

**関健一郎君（維新）**

- (1) 愛知県東三河地域で発生したテンサイシストセンチュウに係る現状、対策及び今後の見通し
- (2) 営農型太陽光発電について今後の推進に係る農林水産省の姿勢及び推進する場合の規制の在り方
- (3) 新たな水田政策に向けて更なる予算を確保する必要性
- (4) 米の輸出に特化した生産者への更なる支援の必要性
- (5) 農地及び林地について登記簿等の情報と実態を一致させる必要性

**村岡敏英君（国民）**

- (1) みどりの月間の取組の普及に向けた農林水産大臣の所感
- (2) 中東情勢関係
  - ア 農業関係の風評被害や不安による買占め等の状況調査及び対策
  - イ 石油の安定供給の確保のための取組において秋田県大潟村の農協のような独自に石油を調達している団体に対する支援を継続する必要性
- (3) 令和9年度以降実施する水田政策の内容は政府全体で定め示していく必要性
- (4) 米のコスト指標関係
  - ア コスト指標の役割及び位置付け
  - イ 公表された指標に対する現場の納得感の有無
- (5) 米の需給の農林水産省による把握関係
  - ア 農林水産省が用いる「需要に応じて」という言葉の意味
  - イ 訪日外国人による需要についての考え方
- (6) 飼料用米関係
  - ア 生産量が令和7年に達成すべき目標であった110万トンに届いていない現状を踏まえ方針を変更する意思の有無
  - イ 政府の水田政策の見直しに関する説明資料において、飼料用米と作付面積はその10分の1未満である米粉用米とを合わせた呼称を「米粉用米等」とした理由
  - ウ 飼料用米の生産を今後も支援することについての農林水産大臣の見解
- (7) 食料品消費税ゼロによる食料品価格への影響等についての認識又は調査を行う予定
- (8) 肥料の国内生産における課題
- (9) 所有者不明農地及び荒廃農地関係
  - ア 所有者不明農地の件数、面積、地域偏在の現状及び把握するための方策並びに解消に向けた対策
  - イ 農林水産省が耕作放棄地を把握する調査を廃止した理由
  - ウ 農地荒廃を防ぐために農業者の意欲は失わせないように生産抑制から増産の方向に転じる必要性
  - エ 生産力がある農地を守ることについての農林水産大臣のメッセージ

**神谷裕君（中道）**

- (1) 米政策関係
  - ア 公表された米のコスト指標を基にした試算では米農家が令和元年産から令和5年産まで5年連続赤字であったとする日本農業新聞の報道に対する農林水産大臣の所感
  - イ 価格は市場に委ね、生産者の所得に対しては政策的な支援を行う必要性
  - ウ 主食用米の需給関係
    - a 令和7年産米の生産量及び需要見込み並びに本年6月末の民間在庫量見込み及び同在庫量が適正水準を超過する可能性

- b 令和8年産米の作付意向の状況
- c 令和7・8年産米の状況を踏まえ生産・供給超過の状況を調整していく必要性
- エ 政府備蓄米関係
  - a 災害等に備えて早期に備蓄量を回復させる必要性
  - b 本年6月末までに備蓄量を回復させる必要性
  - c 令和8年産米の政府備蓄米買入れ入札において米のコスト指標を斟酌等する必要性
- オ 主食用米からニーズの強い非主食用米への転換を促すための手段・支援策の重要性
- カ 令和9年度以降の水田政策の在り方については農業者への直接支払を含めて検討する必要性
- (2) 中東情勢を受けた原油価格高騰関係
  - ア 農林水産分野への影響
  - イ 燃油・ビニール系資材の利用が多い水産分野における急激なコスト増への支援の在り方

#### 木下敏之君（参政）

- (1) 肥料関係
  - ア リン安の備蓄状況、中国及びモロッコからの輸入見込み並びに現地における情報収集の方法
  - イ 主要国の肥料の備蓄体制及び肥料価格上昇が作付に及ぼす影響の見通し
- (2) 世界的な供給不足に備えて米や小麦の備蓄を増やす必要性
- (3) 土壌調査を実施した上でリン酸肥料の施肥量を削減する必要性
- (4) 下水汚泥資源の肥料利用関係
  - ア 肥料利用が増えない理由及び自治体の取組に係る調査等の実施状況
  - イ 利用を増やすための国土交通省及び農林水産省の方策

#### 林拓海君（みらい）

- (1) オランダのフードバレー関係
  - ア 我が国による分析の方法及び評価
  - イ オランダとの比較における日本の農林水産分野の研究開発予算の現状
  - ウ 日本の農林水産分野の研究開発予算を強化する必要性
- (2) 農林水産統計のデジタル化関係
  - ア 農林水産統計のデータの収集・集計方法及びオンライン回答の割合
  - イ オンライン回答を推進するための環境整備の必要性

#### 2 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案（内閣提出第35号）

- ・鈴木農林水産大臣から趣旨の説明を聴取しました。